

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援みらいっぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 20日		～ 令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人として、保育園・学童の運営もしており、地域との連携ができているため、今後様々な人たちと連携して支援の方法や交流などを検討していける	保育園の畑での芋ほりや園庭で遊ぶなど、保育園の子どもたちと関わる取り組みをしている。	定期的に保育園児との交流や学童との交流をおこなう。
2	部屋が広いので運動するスペースを持っている	運動用具を使って、体幹や体の使い方がうまくできるようにサーキットを楽しんでいる	運動に特化したプログラムを導入する
3	小さな集団の中で、友達との関係づくりができる支援をおこなっている。小集団の中でルールや決まり事をみんなで相談して守る方法を取っている。	トラブルがあった際は支援者が聞き取りをおこない、両方にわかりやすいように助言をおこない、両方が納得できるよう支援している。	言葉で言えない時も表情や手紙で伝えたり、少しずつ言える方向に支援できる方法を考える。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設して、8か月ほどなので、支援の方法の幅がまだ狭いような気がする。	新しい支援のプログラムを取り入れる	講師を招いて職員が研修を受け、新しい支援プログラムを学ぶ
2	職員の経験値が低いので、今後の支援していく中や研修を受けて、支援力を身に着ける。	経験者が少ない。	経験者を増員するとともに、研修を強化し、支援の質の向上をおこなう。
3	放課後等デイサービスを利用する人数が少ない。	PCやタブレットを使った支援の方法をおこなっていない。	PCやタブレットを購入し、子どもたちの学習意欲や研究や発見などの意欲につなげていく